

令和元年度 議会報告会

意見交換概要 テーマ「子育てについて」

令和元年11月8日(金)開催

項目	要 旨
待機児童	成田市くらいの規模で待機児童が65名というのは、少ないと感じる。
子育て世代の環境づくり	今後は空港の機能拡充や医療地区の関係で、保育の需要が増えていく。財政的にも多少の余力はあるため、これからの世代の人が安心して働きながら子育てができる環境づくりをしてほしい。
保育士・保育園	学童保育や保育士の職員を増やすことは必要。成田市は優遇もあり、給与の面では働きやすいと聞いたことはあるが、それ以上のものが他市ではあるので、環境を整えていくことも必要と思う。
	待機児童65名は素晴らしい数字だと思うが、たくさん保育士を抱えている中で、保育士に向いていないと思われる方が時折いるという話を聞く。事前の審査をもう少ししてほしい。
	保育士や保育園の特色の良さで保育園を選ぶと思っていたが、「だいたい成田市は保育士の移動が3年ごとにあるから、どこに入れても同じ」と、母親の職場の近くへ預けている人もいる。保育士が良いからとか、こういう遊具があるから良いといった理由で預けたいと思う保育園があると良いと思う。
	滋賀県で交通事故があったとき、橋賀台保育園は次の日の遠足が中止になった。楽しみにしていたのに行けなくなってしまい残念という声もあった。保守的だなと感じた。
	保育園の入園試験や選定について、何が一番優先なのか。千葉市は早い段階で待機児童ゼロになった。働く場所と家と一番近いところの子どもを優先すると聞いたことがある。保育士たちの会で、保育園・自宅・職場の関係性で決めていくと割とスムーズにいくと聞いたことがある。
	距離の問題等で、行きたくない保育園を少なくしないといけない。
都心部では、駅前の商業施設を使っているところもある。成田駅を通勤で使う人が多いと思うが、スカイタウンホールの空き部屋に保育施設を設けるといった構想があっても良いとは思う。	
学童保育	学童に通っている子と学童に通っていない子との関係性を考えてほしい。4年生以上の子は学童には入れない。
	学童保育の子どもは、晴れている日は校庭で遊べる一方、学童保育ではない子は公園に行けばルールに縛られ、校庭は学童保育の子が使っているという理由で使えない。何とかならないのかと思う。
	学童保育の子と地域の子たちが一緒に遊ぶ機会を何とかつくりたいと思うが、すごくハードルがある。
	空き教室を利用して、いろいろなコンテンツが選べる学童にしていくのは難しいか。
虐待	子どもの虐待について、学校・市・児童相談所での問題を何とかしたい。目の色を変えてやってほしい。亡くなった方は戻ってこない。議員にも動いてほしい。互いの連絡網を確立すること。学校や教育委員会・市役所・民生委員など、いろんなところと連携していかなくてはならない。各部署の教育、成田市の家庭児童相談室のレベルを上げる。県からの指導ではなく、NPO・NGO・大学教授等を招いて勉強会をすべき。再教育の必要性もある。
子どもの居場所・遊び場	公園でボール遊びができないなど、禁止項目が多い。遊びが制限されるため、電子ゲームやメディアの方に流れていく。電子メディアの危険性を伝える活動、子どもたちの遊びを促すような取り組みをしないといけない。
	世田谷区では「BOP」という学童でない子どもも学校で過ごせる登録制のシステムがある。調布市では「ユーフオー」というもの。教室を開放し、そこで過ごせるようなシステム。
	ちゃんと見守ってくれる方がいるので、地域で子育てできるのが一番だと思う。そういう場づくりが必要だと思う。

令和元年度 議会報告会

意見交換概要 テーマ「子育てについて」

令和元年11月8日(金)開催

項目	要 旨
子どもの居場所・遊び場	夏休み期間中の子どもの遊び場について、近隣には良い施設がない。近くで冷房が付いていて、体が動かせる場所が必要。校区外へは保護者が付いていかなければいけない。また、親が日中働いていると、子どもの食生活も心配。
	子どもが外遊びをしていないことが心配。農村地区では周りに田んぼや山はあるが、遊び場としては不適。遊び場を確保しないと、良い成長はしない。
	子どもの身体能力が落ちている。公園で遊ぶのも必要だが、山で遊ぶなどの感覚的な遊びも大切。持続可能な社会と環境を守る視点から見ると、逆行している。空き家もあるし、今ある資源を大切にすまちづくりを望んでいる。
	幼いころから親から離れ預けられている子は、危険を排除されて育ってしまった分、少しのことで大きな怪我をしてしまう。子育てしやすいまちづくりが子どもにとって良いことなのか疑問を感じる。大人になったときのことを危惧している。どのような遊びが子どもに必要なか考え、子どもに関わる人の意見も取り入れて公園づくりを考えてほしい。
	子どもたちが安全に遊びすぎ。保育士の数が足りないので、安全に遊んでいてくれないと大変だろうと感じる。市として、遊べる環境があることの広報を手伝い、学童や保育園に短時間で良いので見守りの人を増やせる施策はないか。
	プレイパークに子どもだけで来る子が増えている。飲み物もごはんも持ってこない、またはお金を持っていて、自分で買いに行く子も増えている。子ども食堂も増えているが、行ける子もいれば行けない子もいる。環境を整えるから良い子育てができるとは言えない現状がある。
	電子ゲーム、メディアについて。イギリス・ドイツでは電気と離れる日というものがある。ノーメディアデーというのを他市ではやっているところもある。市全体で特定日を設定し、遊び場があるということも一緒に周知してほしい。
	メディアに汚染されている現状に危機感がある。あればメディアを利用するが、なければボール遊び、かけっこなど、生き生きした顔で遊んでいる。ボール遊びが禁止になってしまうと、子どもたちのやりたい気持ちを大人の事情で押さえつけてしまっている。これから今の子どもたちが成田市を背負っていく。市議会議員になりたいと思う子たちが増えてほしいのに、そういう子たちの活動の場が減っていったらもったいない。市はいろんなお祭り、子ども向けの祭りをぜひやってほしい。自分たちの遊びを次世代へどんどん知恵をつないでいてほしい。子ども向けの日があってもいい。成田市から全国へ発信できたらよい。
	保育園、幼稚園の声がうるさいという人もいる。市の方で決めても定着しないので、地域でやっていることを情報発信できるような、自然発生的なムーブメントを市として支援するという形を考えてほしい。
公園	公園でボール遊びができないので、みんなポータブルゲームやオンラインゲームをしている。やわらかいボールなら可、親と一緒になら可など、融通を付けるか、ボール遊びができる公園を増やしてほしい。
	公園にネットで覆ってエリアを作ればボール遊びができる。土地が余っているのに、似たような施設ばかり。子どもにとってのバリアフリーはよくないこともある。
	ニュータウンや公津の杜に大きな公園があるが、遊具が少ない。公園の役割は、集まった子どもたちが遊具を譲り合ったり、ルールを相談したり、団体生活でどのようにしたらうまくいかを学ぶ場である。また、親同士の子どもに対する悩みを話し合う場でもある。雨をしのげて着替えられる場があればなお良い。市として公園について考えてほしい。また、並木町に住んでいる人は多いが、大きな公園がない。
公共施設	公共施設が子連れにやさしくない。中央図書館は幼児と一般のスペースで分かれているが、小さな子がいる場合、静かにすることが難しい。公津の杜分館は余計に声が響くので行きづらい。例えば、柏市では靴を脱いで上がれて、読み聞かせや紙芝居を図書館やNPOが毎日やっている。また、母親が必要としている産後うつや職場復帰のことなど、ニーズに合った本を読める。
	子どもと中台体育館を使用した時、ほかの活動する人たちの音が大きすぎて、声がなかなか伝わらないことがあった。子どもが雨の日に遊べるような施設(既存の施設をリニューアル)があったらいいと思う。

令和元年度 議会報告会

意見交換概要 テーマ「子育てについて」

令和元年11月8日(金)開催

項目	要 旨
公共施設	公民館の市民活動は充実しているが、子どもを連れて参加するには幼少期だと難しい。四街道市にある施設は子どもが遊べて、母たちが語り合う場、ちょっとした食堂もある。母親の声を吸い上げる場があったらいいと思う。少しでも子どもたちのソフト面に予算をかけてほしい。
学校・部活動	<p>神宮寺小学校と玉造小学校を統合し、空いた学校をいろんな福祉の場所に使えるとよい。</p> <p>小学校でバスケットをやりたいが、豊住小学校にはバスケット部がなかった。小さな学校は、他では体験できるものが体験できない。</p> <p>中学校の部活動の時間がだんだん減らされ、部活動も文武両道でやってほしいと思う。強制的にでも体を動かせるような時間を設けてほしい。</p> <p>公津の杜小学校の職員室の電気が夜の11時、12時に付いている。いつも大変そう。</p> <p>中学生になると学習に集中できるような環境を整えないといけない。収入の格差で塾に行けないなど、子どもたちの権利、家庭環境を子どもたちは選べない。</p> <p>中学生はエネルギーがいっぱいなので、何か新しいスポーツを体験させるなどの機会があれば良い。</p> <p>子どもが下校時に暴言や暴力を受けている。スクールガードがいても起きる。</p> <p>集中豪雨のとき、保護者へお迎え要請をしたことをスクールガードに伝えなかったせいで、豪雨の中スクールガードが来るはめになり、辞めた人もいる。スクールガードをボランティアではなく雇う方が良い。</p> <p>給食時間が12分と少なく、クラス全員が残す日もある。食べきれないというのはおかしい。</p> <p>子どもたちは塾などに追われていて時間がない。子どもたちには指導せず、自主的にもの考えて行動できるような方向にもっていく指導をしてほしい。</p>
地域とのつながり	<p>独居の人は人との関わりが大切。子どもも同年代の子たちとの関わりが大切だと思う。</p> <p>ママ友をつくりたいが、そのサポートが全くない。一日に15分でも一緒に体操等できる場があれば話せるのに。その機会をつくってほしい。</p> <p>保健福祉館でママ友会議を定期的で開催したら、解決のひとつの手段になる。</p> <p>豊住地区は市街化調整区域であり、子育てに不安しかない。山の上に学校があるので、山のふもとで子どもたちを集めて学校に行かせている。</p>
安全	<p>豊住地区の国道408号線、横断歩道はあるが信号がない。渡ろうとしても車が止まってくれない。市や議員へかけあったが、人通りの少ないところへは簡単につくれない。現状を把握してほしい。</p> <p>国道408号線を茨城県に向かって、北羽鳥多目的広場へ入るドライブインがあるところは、交通量が多いが、横断歩道もなければ信号もない。</p>
その他	<p>乳幼児の育ちの現状、保育所・幼稚園に通っている子の様子、小学生の余暇の使い方、中学生・高校生の状況を市としてきちんと把握しているのか。20～30年後を支える子どもたちの状況をつかんでほしい。状況を早急にまとめていく必要があるのでは。</p> <p>窓口が教育委員会、市民協働課と別になってしまい、成田市はつながらない。相談へ行くときは市民協働課だが、機能しない。</p> <p>高齢者と子育て世代をうまくマッチングしてほしい。議員も、高齢者向きの政策ばかりではなく、高齢者をうまく使う政策をしてほしい。</p>